



# 快適な暮らしのための おねがい

ガスは  
ルールを守って  
正しく使いましょう！



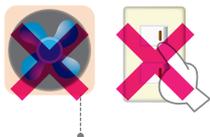
大切なお知らせ  
ですので  
必ず見てください！

## もし

ガスくさいと感じたら。

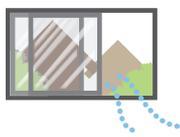
あわてずあせらず落ち着いて次の手順で行動し、  
ただちに当社の点検を受けてください。

火気は絶対使用  
しないでください。



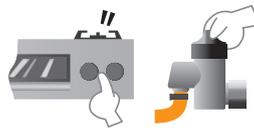
着火源となる換気扇、電気などの  
スイッチには絶対手を触れない  
でください。

戸や窓を大きく  
開けます。



LPガスは空気より重いので、低い  
ところに溜まったガスを掃き出し  
ます。

すべての器具栓  
を閉めます。



使用中のガス器具はすぐに消し、  
器具栓を閉めます。

ガスの元栓を  
閉めます。



メーターのガス栓または容器バ  
ルブは必ず閉めてください。

ご近所でこんな工事を見かけたら  
ぜひお知らせください

道路工事

建設工事

整地工事

工事がガス漏れの原因になる可能性が...

※掘り起こし、埋め戻し、その他工事の内容によって、埋設してあるガス管を  
傷めたり、異常な重みでガス管が破損してしまう場合があります。

※ガス漏れは周囲の多数の方々に変なご迷惑とご不便をおかけすること  
になります。

当社へすぐに連絡してください。 緊急時の連絡は24時間対応しています。

事業者登録番号 H0038



## 広島クミアイ燃料

- 本社ガスセンター 〒731-3361 広島市安佐北区あさひが丘3丁目18-13-14 ☎(082)838-2002
- 三原ガスセンター 〒723-0134 広島県三原市新倉2丁目5-1 ☎(0848)66-0152
- 庄原ガスセンター 〒727-0023 広島県庄原市七塚町605 ☎(0824)74-0001

# LPガスを正しく使って いつも安心

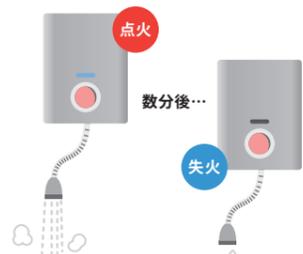
ガスも正しく安全にお使いいただくためのご案内です。しっかり読んで事故防止に努めましょう。



## 小型湯沸器を使うときの注意点と換気の確認

小型湯沸器をご使用の際は、換気を十分に行ってください。不十分な場合は一酸化炭素中毒になるおそれがあり、死亡事故に繋がることがあります。不完全燃焼防止装置が付いていない湯沸器は使用しないでください。

**点火確認・途中失火・くり返し点火** 換気が十分でも使用中に火が消える場合は、不完全燃焼している恐れがあります。



点火を確認しない事故が発生しています。必ず目で確認しましょう。また、換気が十分でも使用中に火が消える場合は、不完全燃焼している恐れがあります。すぐに使用を中止して、当社にご連絡ください。

使用中に火が消えた場合、再点火を繰り返さないでください。点火操作を繰り返すと、器具に溜まったガスに引火し事故になる場合がありますので、再点火するときは注意しましょう。

※再点火防止装置(ロック機能)が搭載されている機種があります。解除には専門の技術を要します。

**危険です!!ゼットAIにやめてください!** 小型湯沸器のこんな使い方は大変危険です。



ダメですゼットAI!



お風呂に給湯をしない!



洗濯機に給湯をしない!

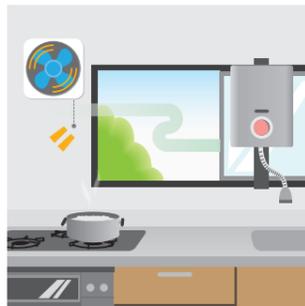


シャワー・洗髪をしない!

小型湯沸器でホースを延長して浴槽、洗濯機へのお湯はりや注水、洗髪やシャワーなどに絶対使わないでください。

不完全燃焼を起こす可能性があり大変危険です。重症の場合、死亡事故につながります。

**ガスを使うときは必ず換気をしてください** 特に小型湯沸器をお使いの際は必ず換気をしてください。



火が燃えるためには新鮮な空気(酸素)が必要です。閉めきった室内で火を使い酸素が不足してくると、不完全な燃焼により人体に有害な一酸化炭素(CO)が多く発生する可能性があります。

安全に火を使うために、ガス機器を使用するときは、十分に換気をしてください。また、ガス機器・給排気口の付近に窓がある場合、燃焼した排気を直接屋外へ排出するガス機器や、屋内機器の排気口付近にある建物開口部(窓、換気口など)から排気が室内に流入し、不快なおいがしたり気分が悪くなるおそれがあります。

※排気が室内に流入し、一酸化炭素中毒の原因となる恐れがあります。



使用中は窓を閉める



## CO(一酸化炭素)中毒について!

燃焼器具は空気(酸素)が不足したままで使用していると不完全燃焼を起こし、CO(一酸化炭素)が発生します。COは毒性が非常に強く、少し吸い込んだだけでも頭痛・吐き気などがし、気が付いた時には動けず死に至る危険性があります。



## 煙突式風呂がま・湯沸器、排気筒のある給湯器をご使用のお客さまへ

**煙突や給気口などをときどき点検してください!**

- 1 煙突の先端の金属が腐食していたり、鳥の巣などの異物で詰まっていますか?
- 2 固定金具により堅固に固定されており、グラつきなどありませんか?
- 3 煙突の穴あきやハズレはありませんか?
- 4 給気口や換気口がふさがれていませんか?
- 5 イヤな臭いはしていませんか?

**排気ファンが付いている場合**

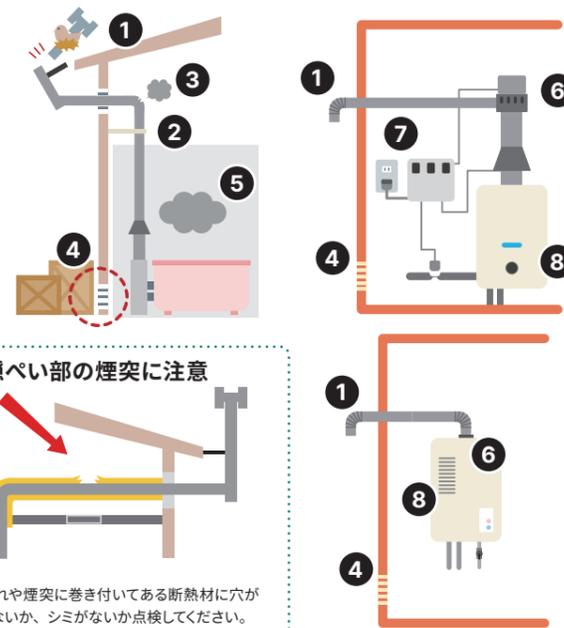
- 6 お湯を出したときファンが回転していますか?
- 7 電源プラグはゆるみのないようしっかりとコンセントに差し込まれていますか?
- 8 機器の給気口やフィルタにホコリが溜まり、空気を取り入れる妨げになっていませんか?



※線香などの煙で確認してください

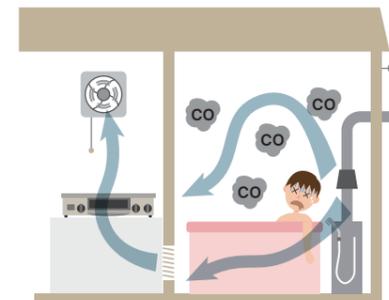
- 地震や台風、大雪などのあとに、機器を使用する場合は、煙突のはずれや、壊れていないか点検してからお使いください。異常を見つけた場合は、使用を中止し、当社までご連絡ください。
- お風呂を沸かしているときやシャワーを使っているときに、台所や浴室内の換気扇を使用すると風呂がまの排気が浴室内に逆流し一酸化炭素中毒を起こす場合があります。
- 屋外設置式や密閉式もしくは不完全燃焼防止装置付きの安全な機器にお取り替えください。

**異常を見つけた場合は、すぐに使用を中止して当社までご連絡下さい。**



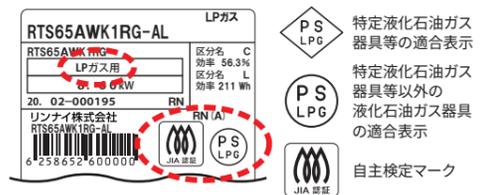
隠ぺい部の煙突に注意

煙突の外れや煙突に巻き付いてある断熱材に穴が開いていないか、シミがないか点検してください。



## ガス器具はLPガス用で

当社の供給しているガスはLPガスです。LPガスは空気より重く、もれると低いところや、物かげにたまる性質があります。ガスの種類とガス機器が合っていないと不完全燃焼の原因となるので、検定マークや適合表示を確認のうえ、必ず「LPガス」用をご使用ください。



## いつも青い炎で

ガスをお使いの際は、炎は必ず「青い炎」でお使いください。オレンジ色の炎のときは不完全燃焼しています。

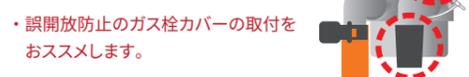


ガスこんろなどの目づまりは、不完全燃焼の原因となります。ときどき器具ブラシなどで掃除をしてください。



## 使っていないガスの元栓

- ・つまみは「閉」になっていますか?
- ・ゴムキャップはついてますか?



## ゴムホース

- ・検査合格表示のあるものを使用し、赤い線までしっかり差し込み、ホースバンドでしっかり止めてください。
- ・約3年を目安にお取替えください。



## ガス警報器・CO警報器

掃除機などを使用してコンセントが抜けたままになっていませんか?電源を元通りにしておきましょう。

警報器は、燃焼器から4m以内、床から30cm以内に設置し、周りにしゃへい物がないことを確認してください。

交換期限は5年です。

ガス警報器

不完全燃焼による一酸化炭素(CO)が発生した場合、ランプと警報音でお知らせします。

CO警報器

## ガス給湯器・風呂がまの波板囲い

リフォームなどにより、屋外設置のガス機器が波板などで囲われていませんか?十分な換気が行われなため大変危険です。囲いを取り外すか囲いの外へ設置し直してください。



# マイコンメーター

マイコンメーターは次のような場合にガスを遮断します。

- 大きな地震発生時(震度5以上)
- 多量にガスが流れた場合
- ガスの圧力が低下した場合
- ガスが長時間、流量に変化がなく流れた場合

この場合、安全を確認したうえで、ご自身でメーター遮断を復帰することができます。



## ガスが突然止まったら

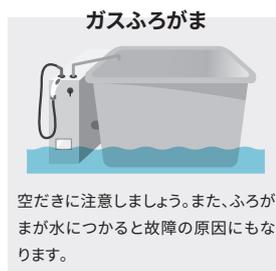
### 復帰方法

- ① ガス栓・器具栓を**すべて閉める**。
- ② 復帰ボタンをしっかりと押してから離し、**1分間待つ**。(表示が点滅)
- ③ 液晶パネルの警報表示が消えたら、もどおり使えます。

復帰しない場合は、操作を繰り返さず、当社へご連絡ください。

## ガス機器のお手入れ あんしんしてご使用いただくために

- ガス機器の安全なご使用、日常管理については、取扱説明書をよく読んでいただき、ご使用いただくことが大切です。
- ガス機器をご使用時に不快なおい、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱などがあれば、ただちに使用を中止し、当社へご連絡ください。



## 地震発生! そのときどうする? コミュニティガス協会HPより

### そのときどうする?

- **身の安全が第一!**  
「グラッ!」ときたらまずは自分の身を守りテーブルや机の下などの安全な場所にふせましょう。
- **火の始末!**  
火気使用中に地震がおきたらあわてずにすぐに火を消してください。
- **安全な場所に避難!**  
家屋等に被害があるときには危険ですのですぐに近くの指定避難場所へ逃げてください。
- **津波がくる前に!**  
海の近くにお住まいの方は速やかに火を消して高台などに避難して下さい。



### 避難のときに

- **ガスの元栓閉めて**  
地震の揺れがおさまったらガス機器の器具栓やガス栓を閉めてください。(二次災害防止のため)
- **ガス臭いと感じたら**  
ガス漏れに気づいたらすぐに窓や戸を開けてお近くのガス業者に連絡をして屋外に避難してください。
- **ご近所と協力して**  
避難に際しては、ご近所と協力し合って行動しましょう。また、高齢者の方には手をかしてあげましょう。
- **ケガ人はいないか?**  
避難場所で落ち着いたら周りを確認してけが人がいないか、もしいたら応急手当をしてください。



### 普段からの備え

- **家具類の転倒落下防止**  
家具類などは上に重いものや角の鋭いものを置かないでストッパーなどをして転倒防止の措置をしましょう。
- **ガス器具の周りに燃えるものは置かない**  
ガスコンロやガストーブの近くには普段から燃えるものを置かないようにしましょう。
- **備えて安心**  
避難生活に最低限必要なものを非常持ち出し袋に入れすぐに持ち出せる場所に備えておきましょう。
- **普段から話し合い**  
家族で避難場所、避難経路、連絡方法など話し合いを日頃からしておきましょう。



### 安全機器で安心ガスライフ

#### テーブルコンロ



地震のときは、まずは身の安全を確保することが大切です。地震で揺れている最中に、無理に火を消しに行くと、調理器具などが転倒したり落下してくる場合があり、やけどをする恐れがあります。

#### 立ち消え安全装置

煮こぼれや吹きこぼれ、強風などで炎が消えたとき、自動的にガスを止めます。

#### 天ぷら油過熱防止装置

「温度センサー」が常に油温をチェック。温度が約250°Cになると、自動的にガスを止めて消火し、天ぷら油の発火を防ぎます。

LPガスの安全供給にご協力ください

法令の定めにより、お客さまの承諾を得てガス消費機器の調査およびガス管の検査を行いますのでご協力をよろしくお願いいたします。



休日・夜間の緊急時の連絡先  
0120-18-2571 JA-LPガスあんしんセンター

平日(8:45~17:15)の連絡先は  
最寄りのガスセンター・営業所まで